



杉山たかのり

 ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) facebook [杉山孝教](#) で検索

UR 借上げ市営住宅問題

今村市長が公開質問に「別の方法」と回答

借上げ期限が迫る UR 借上げ市営住宅問題。宝塚、伊丹市が全員継続入居、兵庫県、神戸市が一部継続入居を認める中、河野前市長は全員を転居させる方針でした。西宮 UR 借り上げ市営住宅連絡会が4月の市長選挙の際に実施した公開質問状に、今村岳司市長（当時市議）は、「まったく別の方法を考えます」を選択していました。回答は、「買い取り」のため、弁護士、すまいの専門家などで構成する委員会を立ち上げ、市営住宅の更新と管理計画を再検討し、UR と再交渉すると、の旨を示していました。公開質問状への回答は公約であり、従来の返還“追い出し、から買い取り、継続入居への方針を早急に検討するべきです。

今村市長の公開質問状に対する回答

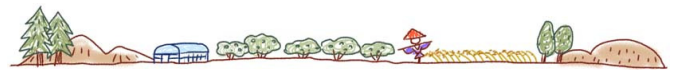
市は、5団地・447戸の借り上げ料として、毎年5億2千万円、20年間で104億円URに支払っています。震災当時のURの建築費は1戸当り約900万円としても、447戸で40億2千万円です。建物を切り離して議論するなら、十分過ぎる借り上げ料を支払ったことになります。これに用地費を加えた総額1戸当り2000万円の分譲としても、447戸で89億4千万円です。20年間の金利分が発生しますが、あと少し支払えば、用地ごと取得できます。URの建設費には国の補助金も充当されていることでしょうし、実際のURの持ち出しの建設費は5団地447戸で約50~60億円だと思います。

そのため、弁護士、すまいの専門家、福祉の専門家、まちづくりの専門家、不動産鑑定士、福祉部局職員（高齢、障害等の部局）等で構成する委員会を立ち上げて、市営住宅の更新と管理計画を再検討し、URに対してレンタルアップの提示も含めた再交渉を行い、最終的な判断をすべきであると考えています。

市住宅部は従来方針に固執

市長が「別の方法」と回答していたにも関わらず、市住宅部は従来方針を推進し、住み替えという名の“追い出し”方針を継続しています。5月19日には連絡会が「新市長の方針を検討するまで従来方針の休止を」と申し入れましたが、「事務方としては従来の方針を進めたい」と固執。(左 しんぶん赤旗 5月21日付)

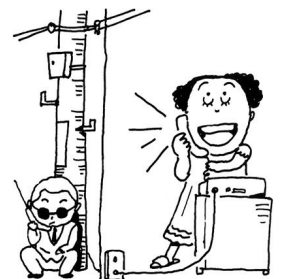
市住宅部は、ただちに市長と協議し、従来方針を凍結、新方針の検討に入るべきです。



市長、「盗聴」の心配してる場合？

5月27日付神戸新聞が「西宮市庁舎内 盗聴器を探せ」の見出しで今村市長が市長の執務室などに盗聴器が仕掛けられていないかの調査を実施するとの記事が掲載されました。西宮市役所での“盗聴”など聞いたことがなく、前代未聞のことです。

経緯などを調査すると、警察からの助言が発端。市長は就任日に西宮、甲子園両警察を訪問しています。関東の業者に見積もり合わせて、費用は20数万円ほど。この間、この盗聴調査の記事や6月3日の副市長人事の記事が神戸新聞に掲載されましたが、いずれも情報元は不明とのこと。今村市長にかなり近いところから情報が漏洩していると思われます。被害妄想のような“盗聴”調査に税金を使う前に、やるべきことがあるのではないのでしょうか。



西宮の借り上げ復興住宅

住み替え募集休止を

住民ら要求

阪神・淡路大震災の被災者が入居する借り上げ復興住宅から20年の期間終了で転居を迫られている問題で、西宮市が行ってきた住み

宮UR借り上げ市営住宅替え募集を休止するよう宅連絡会は19日、今村市長に申し入れました。連絡会の松田康雄代表は、今村市長が4月の市長選で、連絡会の

公開質問状に「まったく別の方法を考えます」と回答し、「あと少し支払えば用地ごと取得できます」「URに對してレンタルアップの提示も含めた再交渉を行い、最終判断するべき」などの理由を示したことを紹介。新方針を早急に検討するとともに、方針を決めるまで前市長時の住み替え募集を休止するよう強く求めました。対応した岡筋政之住宅部長は、住宅を買い上げることが困難などこれまでの方針に固執し、「休止は考えていない。住み替え募集は継続する」と繰り返した。そのため、入居者らは「別の方法を考えろ」という市長の考えと違う」と厳しく抗議しました。同席した日本共産党の杉山孝教市議は「公開質問状への回答は重たい」と強調し、市長の判断を仰ぐことを重ねて求めました。